

☆地方創生推進交付金(①～⑤)

①「地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略推進事業」【H28～H30】 【事業概要】城下町エリアを核として活気あふれる北近畿の商都を創生する。				平成29年事業にかかるKPI(重要業績指標)							
				指標名		実施前値		目標値		実績値	
				観光消費額		2,008,500千円		2,038,500千円		1,936,377千円	
				中心市街地歩行者・自転車通行量		3,532人		6,532人		4,066人	
テナントミックス事業開設店舗数		一店		4店		8店					
No.	アクションプランの位置づけ	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議(5人構成)		
									主な意見		地域創生の効果
1	I-3 観光業の振興	佐藤太清記念美術館特別展事業	「立原えりかのグリム童話絵本展」や「安野光雅展」等著名作家の作品展示より市内外から多数の入館者を得た。これら展覧会にあわせてギャラリートークやワークショップを開催した。	親しみやすく魅力ある作品の展示にあわせ、ワークショップ等の市民参加型の体験会を開催することで、身近に文化芸術に触れる機会の提供が行えた。	文化・スポーツ振興課	3,110,044	1,390,158	B	①市外へ向けて更なる情報発信が必要。 ②入館者の属性や近隣施設間の移動調査を行い、需要分析を行うことを望む。 ③佐藤画伯の交流のあった著名な作家との企画展を実施してはどうか。	あり 5 なし 0 不明 0	
2	I-2 商工業の振興	商店街等振興事業	商店街や事業者グループが行うイベント事業に対して補助金を交付する。1回の事業につき20万円を限度に補助。(補助率1/2以内)	商店街等の活性化に取り組む事業を支援することにより、市内に賑わいを創出することができた。	産業観光課	1,296,000	534,000	C	①公立大学ともコラボをして、更なる活性化を望む。 ②主要イベントについての効果測定や参加者へのヒアリング等も必要。	あり 5 なし 0 不明 0	
3	I-3 観光業の振興	福知山城憩いの広場(ゆらのガーデン)管理事業	ゆらのガーデンの芝・植栽等の維持管理業務委託や日常的な清掃及び警備の業務委託、ガーデンの四季折々の草花の管理のためにガーデニングサークルに交付金を交付する。	官民協働で維持管理し、良好な四季の彩と和みの空間づくりに努め、市民や来街者が憩える場を提供することができた。	産業観光課	3,983,389	1,015,888	C	【ありの意見】 ①植木等はイベントにして消費者を呼び込んでみてもいい。 ②大変面白い空間であり、点ではなく面として利用できる工夫が必要である。 ③来場者の居心地及びその来店頻度の調査が必要。 【なしの意見】 ①整備のみの事業という印象。このガーデンへ呼び込むためのイベント企画や美術展等の開催も行ってはどうか。	あり 4 なし 1 不明 0	
4	I-3 観光業の振興	福知山鉄道ポッポランド2号館の運営事業	福知山鉄道ポッポランド及びポッポランド2号館の運営並びにポッポランドが行う企画イベントの実施等に対して補助金を交付する。また、旧福知山駅周辺のパノラマ模型(鉄道Nゲージ併設)の管理・監視、軽微な修繕、オートレール(ノコンソフトによる自動運転装置)の設定・調整業務を委託している。	平成25年度には1万人を下回っていた入館者数が、平成29年度は2万人以上となり、市内外から中心市街地への誘客につながり、中心市街地の活性化に寄与した。	産業観光課	2,951,217	1,238,034	C	【ありの意見】 ①車とせず徒歩で回遊性を高める工夫を。 【なしの意見】 ①次の展望展開をなるべく早く見出すことが求められる。	あり 4 なし 1 不明 0	
5	IV-1 市民協働による市街地・集落整備	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略推進事業	商店街をベースに空き店舗等の利活用を提案することで飲食店やゲストハウス等を開設するとともに、広域的な地域資源の活用によりインバウンド観光等を盛り込んだ新たな観光面での受け皿を構築する。	発信力が高い台湾人プロガーやユーチューバーによる情報発信促進により、インバウンド需要の掘り起こしを行った。	産業観光課	6,000,000	3,000,000	B	【ありの意見】 ①文化・芸術面とも連携して、引き続き誘客に努めてほしい。 【なしの意見】 ①事業モデル構築のために速度を上げて事業を進める必要あり。	あり 4 なし 1 不明 0	
6	IV-1 市民協働による市街地・集落整備	中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業	中心市街地エリアの空き家・空き店舗等の情報を集約し利用希望者に紹介する。平成29年度からは、テナントミックス推進事業補助金を統合し、まちづくり会社及び特定会社が国庫補助金の採択を受けて、実施する空き店舗活用事業に対し、支援を行う。	平成29年度は福知山市中心市街地活性化空き店舗等対策支援事業補助金を活用した新規出店が3件あり、中心市街地の活性化に寄与した。	産業観光課	6,387,320	3,193,660	C	①予算を増やしても空き家の改修を進める必要がある。 ②学生のアパートや農産物の販売など幅広い利用を検討のこと。 ③単なるマッチングでは継続する可能性は低い。他の先進事例を学びながら、「福知山スタンダード」を作り上げる。	あり 5 なし 0 不明 0	
7	IV-1 市民協働による市街地・集落整備	中心市街地誘客・回遊促進事業		台風21号により中止							
8	I-3 観光業の振興	くの一武道大会開催事業	全国から女性参加者(くの一)が参加し、福知山城を舞台に競技を行う事業を実施し、TVや新聞等で広く紹介されることで、福知山城を全国に情報発信していく。	全国からの応募・参加者があり、あわせて観客や応募者等も訪れ、テレビや新聞等の取材もあり、全国放送もされ本市及び福知山城のPRができた。	まちづくり推進課	449,042	193,361	A	①スイーツとのコラボやアニメとの連携など更に工夫が必要。 ②2020年の大河ドラマはチャンス。準備を怠らないこと。	あり 5 なし 0 不明 0	
9	I-3 観光業の振興	スイーツフェスティバル事業	「スイーツフェスティバル実行委員会」への補助金。	「スイーツフェスティバル実行委員会」が、市内外のスイーツ店を一同に集めたスイーツフェスティバルを開催し、スイーツを軸にした本市のPRと観光誘客促進が図れた。	産業観光課	1,000,000	500,000	B	①ターゲットをしぼり、何のスイーツコンテストかを明確に打ち出す。 ②35%が外部からの来客とはいえ、福知山ならではの商品や限定品など他の地域の事業との差別化で持続させてはどうか。 ③具体的な商品開発が弱い。地域資源と連携して工夫が必要。 ④福知山産を訴求できるスイーツを早く市場に出すべきだ。	あり 4 なし 0 不明 1	
小計						25,177,012	11,065,101				

A(非常に効果があった)
B(相当程度効果があった)
C(効果があった)
D(効果がなかった)

②「京都府北部地域連携都市圏ステップアップ事業」【H28～H32】 【事業概要】京都府北部一つの経済・生活圏を形成し、中核市にも匹敵する産業・商業規模、観光拠点や交通機能等の都市機能を備える都市圏の実現に向けた取組を行う。				平成29年事業にかかるKPI(重要業績指標)						
				指標名		実施前値		目標値	実績値	
				観光消費額		2,008,500千円		2,038,500千円	1,936,377千円	
				空き家バンクを活用した移住世帯数		4世帯		5世帯	6世帯	
高等教育機関等卒業者の圏域内定着者数		22人		24人	33人					
No.	アクションプランの位置づけ	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議(5人構成)	
									主な意見	地域創生の効果
10	I-3 観光業の振興	海の京都DMO事業	一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)に対する自治体負担金	北部全体で観光による集客力を底上げするための施策を展開。 [H29主要事業]継続的データ収集・整備・分析・着地型旅行商品造成・インバウンド誘客・情報発信・プロモーション等	産業観光課	11,815,000	4,343,000	B	①舞鶴市や近隣自治体と連携して入込客増加の工夫が必要。 ②各地のDMOの実態を見ると、全国資本が幅を利かせている。観光振興こそその地が回っていくべき事業である。その姿勢を維持してほしい。	あり 5 なし 0 不明 0
11	I-3 観光業の振興	SEA TO SUMMIT事業	京都府・福知山市・舞鶴市・綾部市の四者が負担金を拠出し事業を実施する。各市の特色を活かし、カヤック、バイク、バイクを実施 舞鶴(カヤック)⇒大江山グリーンロッジ(自転車)⇒大江山山頂(バイク)の実施	参加者には好評であり、参加者数は110名前後だが、少なからず福知山市での経済効果もあると思われる。	文化・スポーツ振興課	762,040	381,020	C	【ありの意見】 特になし 【なしの意見】 ①コンテンツは悪くないが、規模が中途半端である。 ②「仕方なくやっている」感あり。今一度精査する必要あり。	あり 2 なし 3 不明 0
12	II-2 移住・定住の促進	ふるさと就職おうえん事業	合同企業面接会を京都市内で開催 日時:平成29年5月25日(木) 会場:京都市勤業館みやこめっせ(京都市左京区) 参加事業者数:122事業所(内、福知山市42事業所)	当日は求職者133名が参加し、その内22名(内、福知山市5名)の求職者が面接会参加事業所への就職につながった。	産業観光課	3,137,000	473,500	C	①働き手不足の中、学生と企業をつなぐ重要な事業である。 ②地域産業の担い手づくりは、一朝一夕で叶うものはない。現在を「短期」とするなら「中期・長期」の事業計画が要る。	あり 5 なし 0 不明 0
13	II-2 移住・定住の促進	移住・定住促進事業	①移住希望者、移住者に関する支援・情報発信等(住宅支援金・雇用奨励金・移住促進Webサイト運営・移住情報誌作成・フェア出展等) ②受入地域支援 地域情報誌作成など意識醸成 ③地域連携都市圏負担金(7市町協働での情報発信、移住希望者分析など)	移住を検討する方へ本市の魅力の効果的にPRするための情報発信手段を整えることができた。また、移住フェア出展・セミナー開催により、移住希望者が本市への移住を考えるきっかけを作ることができた。	まちづくり推進課	16,339,274	2,048,000	C	①空き家の有効活用とセットで市として更なる努力を。 ②農業の6次化など働く場を確保しつつ、引き続き定住促進を強化すべきである。 ③「マッチング」できれば良しとする傾向が各地で問題視されている。人が単に移動することとして捉えることの見誤りから脱却し正論を展開すべき。	あり 5 なし 0 不明 0
14	IV-5 地域連携による経済・生活圏の形成	広域連携推進事業	総会、幹事会、各部会等を開催し、連携ビジョン等の策定、アクションプランの策定等を行う。 また、連携ビジョンに従い、地方創生交付金を活用しながら各種事業を推進する。	京都府北部地域連携都市圏において、連携都市圏ビジョン(北の京都七つ星プロジェクト)を策定。また、行政サービスシームレス化として北部7市町間での図書館相互利用を平成30年4月より開始した。	経営戦略課	2,083,960	271,500	C	①広域連携の仕組みの検討のみでなく、具体的な事業(文化・スポーツ等)について実施計画を検討すること。 ②近隣に位置する自治体の成り立ちの違いを超えてつながることの難しさに直面している。長期的な見方修正しながら進めるしかない。	あり 5 なし 0 不明 0
15	II-1 地(知)の拠点としての地方大学の強化	福知山公立大学「学びの拠点」推進事業	福知山公立大学北近畿地域連携センターが、北近畿地域の自治体や企業等との連携・協働の活動拠点として魅力ある施設となるように、魅力向上に向けた施設改修や地域貢献事業等に係る取組を支援する。	北近畿地域連携センター改修工事(第2期)を完了し、竣工することができた。 また、北近畿地域における高等教育機関、民間組織・団体等の約50団体で構成する「北近畿地域連携会議」を設立することができた。	大学政策課	28,594,000	10,000,000	B	①福知山市を含む北近畿地域活性化のために、引き続き事業強化が望まれる。 ②府県境を越えたエリアの中にあって「大学」の存在は貴重である。これが福知山市にとって将来を見据えた事業に発展することを期待する。	あり 5 なし 0 不明 0
16	I-1 農林水産業の振興	農商ビジネスフェア開催負担金	与謝野町内で7市町圏域内での域内消費を目指した商談会を3回実施し、7市町の生産者と事業者とのマッチング、情報共有、専門家からのアドバイス等を行う。	農商ビジネスフェアを通じて、新たな取引先の獲得や、専門家によるアドバイスによる新商品の開発等につながった。	産業観光課	118,000	59,000	C	①地産地消の推進を引き続き推進してほしい。	あり 4 なし 0 不明 1
小計						62,849,274	17,576,020			

A(非常に効果があった)
B(相当程度効果があった)
C(効果があった)
D(効果がなかった)

③「福知山市・丹波市・朝来市 定住生活圏域創生人材・産業育成事業」【H29～H31】 【事業概要】「知」の拠点を圏域内の地方創生の核とし、地域人材確保や地域産業活性化の仕組みを構築することで、持続可能で活力あふれる独自の圏域を創生する。				平成29年事業にかかるKPI(重要業績指標)							
				指標名		実施前値		目標値		実績値	
				圏域内観光主要施設売り上げ額		1,021,350千円		1,050,000千円		887,697千円	
				移住支援制度を利用し転入した人の数		11人		20人		43人	
人口社会増		-131人		-120人		-213人					
企業支援制度を利用して起業した人の数		11人		15人		8人					
No.	アクションプランの位置づけ	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議(5人構成)		
									主な意見	地域創生の効果	
17	II-1 地(知)の拠点としての地方大学の強化	福知山公立大学「学びの拠点」推進事業	丹波市、朝来市が希望するテーマにより福知山公立大学開学記念連続講演会を開催する。 また、丹波市、朝来市で大学講義等を実施する「まちかどキャンパス」事業を支援する。	福知山公立大学開学記念連続講演会に延276人(丹波市76人、朝来市200人)の参加者。 丹波市、朝来市において研修会を開催し、福知山公立大学の存在感をアピールすることができた。	大学政策課	2,700,000	1,350,000	C	①公立大学が引き続き地域活性化の推進拠点校となることを切に望む。	あり 5 なし 0 不明 0	
18	II-3 高等学校の特色を活かした活気の創出	「未来の力祭典」事業	主体となって「未来の力祭典」に取り組む福知山市市民憲章協議会への交付金	募集座席700席に対して、募集定数を大幅に超える応募(市内1320席、市外147席)があった。当日は関係者を含めて、約900人が鑑賞した。	まちづくり推進課	9,241,280	4,600,000	C	①記念事業にとどまらず、次年度以降の地域の絆を深める取組である。	あり 5 なし 0 不明 0	
19	I-3 観光業の振興	観光地域づくりセンター(仮称)設置運営事業	民間の専門的な視点やノウハウを有した戦略マネージャー及び地域づくり担当を外委託し、地域関係者や事業者を交え伴走型により事業展開する。	事業着手箇所の選定と関係者間の調整を実施し、3地区で事業着手。	産業観光課	13,011,000	6,303,501	C	①地域の事業者を幅広く巻き込めるように引き続き努力してほしい。 ②観光要因を地域振興に活用することで、地域資源の活用に繋がることを銘とする必要あり。	あり 5 なし 0 不明 0	
20	II-3 高等学校の特色を活かした活気の創出	次世代交流ワークショップ事業	市内の高等学校と連携し、地域人材の派遣などによる若者の人材育成を行う「高校生フューチャーセッション」を開催し、福知山の将来を語るワークショップを開催する。	高校生や大学生などの若者を中心とした市民が、まちづくりに関する共通のテーマで話し合い、郷土愛の醸成を起点とした市民協働の取組みを実施することができた。	まちづくり推進課	1,742,114	871,057	C	①産業活性化と結びつけるスタイルが望ましい。 ②創業立案なども高校教育に取り入れ、若い世代の当地の特性を活かした新ビジネス・新商品創出する工夫を。 ③若者が引き続き、多数参加されることを望む。 ④次世代を担う高校生をどんどん活躍の場に登場させることが大切である。	あり 5 なし 0 不明 0	
21	II-1 地(知)の拠点としての地方大学の強化	「知の拠点」整備構想策定事業	北近畿地域の「知の拠点」づくりを推進するため、両大学の教育研究環境の充実に向けた将来ビジョンについて外部有識者による「知の拠点」整備構想検討委員会を設置し、「知の拠点」整備構想を策定する。	「知の拠点」づくりを推進するための整備方針である「知の拠点」整備構想を策定することができた。	大学政策課	10,624,472	5,312,236	B	①「公立大学まちかどキャンパス事業」と併せ、高齢者の学びの場としても活用していければよいと思う。 ②新学部についてはニーズ分析し、3ポリシー(ディプロマ、カリキュラム・アドミッション)を具体的に策定すること。 ③「学ぶ」ことの重要性を世代を超えて認識する機会を与えることで、福知山市が周辺市町の中で名実ともに「知の拠点」となる。	あり 5 なし 0 不明 0	
22	I-2 商工業の振興	福知山市産業支援事業	相談業務を中心とした支援を行う福知山産業支援センター「ドッコイセ! biz」においてあらゆる業種の事業所の相談に対応する。	相談件数95事業者235件(1月～3月)。その内約6割はリピーターとして複数回相談に来られている。	産業観光課	22,991,332	9,276,237	B	①地域住民にとって「産業支援センター」の認知度は高い。PR努力が必要である。	あり 5 なし 0 不明 0	
23	I-3 観光業の振興	肉のまち福知山事業		台風21号により中止							
24	I-2 商工業の振興	福知山産業フェア事業		衆議院選挙により中止							
25	I-3 観光業の振興	福知山アーティスト・イン・レジデンス事業	京都Research実行委員会(事務局:京都府)を立ち上げ、地域アートマネージャー(中丹広域振興局)を中心に公募したアーティスト6名、文化協力員、地域住民と交流し、福知山市の風土や歴史等を調査し、そこでの発見を活かしたプロジェクトや作品プランの構想を立てた。	今回参加のアーティスト6人6種の発想に、関わった方たちが見落としていたことや新しい視点に気づくことが出来た。	文化・スポーツ振興課	514,240	250,000	C	①地元アーティストと地元企業のコラボを実施してはどうか。 ②今回の取組について多くの地域住民が認知できる仕組みを強化すべきである。 ③人と地域が感性の成長を期す催事は必要である。	あり 5 なし 0 不明 0	
26	II-2 移住・定住の促進	中丹式インターンシップ事業	中丹地域にUIターン就職を希望する大学生に対し、職業体験に加え、宿泊、生活体験を組み合わせた中丹圏域における総合的なコーディネートによる新たなインターンシップ制度を京都府及び中丹地域3市の協働により実施する。各市においては大学生の宿泊費相当分を負担する。	都市圏の学生に対し、中丹地域で働く選択肢を示せたことが良かった。 また、本制度を利用し2人が就職に繋がった。	経営戦略課	214,500	107,250	C	【ありの意見】 ①限られたエリアではあるが、市民レベルでの知的交流の機会が与えられたとの認識が必要。 【なしの意見】 ①費用対効果を考慮して、UIターン促進の別の方策を検討すること。	あり 4 なし 1 不明 0	
27	IV-1 市民協働による市街地・集落整備	地域づくり人材育成事業(夜久野支所)	市民が、地域リーダーとなる人材育成の場として一般社団法人地域活性化センターが主催する「全国地域リーダー養成塾」に参加するための旅費、負担金を交付する。	受講者は、地域リーダー養成塾の受講により、地域リーダーとしての見聞、資質を深め、他市参加者との交流により人的ネットワークを築くことができた。	夜久野支所	233,120	116,560	C	①今後、地域リーダーが更に育つ取り組みの強化が望まれる。	あり 4 なし 0 不明 1	
28	IV-1 市民協働による市街地・集落整備	地域づくり人材育成事業(大江支所)	市民が、地域リーダーとなる人材育成の場として一般社団法人地域活性化センターが主催する「全国地域リーダー養成塾」に参加するための旅費、負担金を交付する。	受講者は、地域リーダー養成塾の受講により、地域リーダーとしての見聞、資質を深め、他市参加者との交流により人的ネットワークを築くことができた。	大江支所	556,430	249,375	C	①今後、地域リーダーが更に育つ取り組みの強化が望まれる。	あり 4 なし 0 不明 1	
29	II-4 シティプロモーションの推進	福知山PR戦略総合推進事業	市民参加型でのブランドメッセージの作成・決定。プロモーション動画作成。観光・移住プロモーション用のポスター作成。	市の観光イベント等に対するメディア獲得回数107回。プレスリリース配信によるメディア露出による広告換算額233,597千円。ブランドメッセージがいがいと福知山決定。	秘書広報課	17,000,108	8,411,434	B	①29年度はPRコンテンツを作成することが目的であれば地域創生の効果は「あり」である。 ②多額の委託料をかけたので、地域住民を十分に巻き込んだ取組が望まれる。 ③効果的且つ、伝えるべきことはしっかりと伝授するPRの推進は厳しい。相当の力仕事であると考えられる。	あり 4 なし 0 不明 1	
小計						78,828,596	36,847,650				

A(非常に効果があった)
B(相当程度効果があった)
C(効果があった)
D(効果がなかった)

④「今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業」【H28～H32】 【事業概要】地域資源を活用した広域観光に係るDMO事業及び連携事業を進める。				平成29年事業にかかるKPI(重要業績指標)						
				指標名		実施前値		目標値	実績値	
				観光消費額		2,008,500千円	2,038,500千円	1,936,377千円		
No.	アクションプランの位置づけ	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議(5人構成)	
									主な意見	地域創生の効果
30	I-3 観光業の振興	「森の京都」DMO事業	一般社団法人森の京都地域振興社(森の京都DMO)に対する自治体負担金	マーケティング調査(WEB調査・動向調査)・旅行商品開発・販売・特産品開発・ブランド化・販売促進・人材育成等	産業観光課	10,100,000	3,900,000	B	①数値的なことも大切であるが、むしろ地域が如何に動くことが可能なかを模索することの方が先行すべきである。	あり 5 なし 0 不明 0
小計						10,100,000	3,900,000			
⑤「北近畿の拠点“福知山”ネットワークを強化する道作り計画」【H28～H32】 【事業概要】市内の道路網を整備し、交通の利便性、地域間交流の促進、交流ネットワークの強化を図る。				平成29年事業にかかるKPI(重要業績指標)						
				指標名		実施前値		目標値	実績値	
				観光入込客数		792,139人	834,849人	946,618人		
				森林整備施業面積		373ha	405.1ha	400ha(見込値)		
No.	アクションプランの位置づけ	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議(5人構成)	
									主な意見	地域創生の効果
31	IV-5 地域連携による経済・生活圏の形成	地域間交流促進ネットワーク事業(市道整備)	地域再生計画に基づき、市道広小路使徒線、上荒河観音寺線、二瀬川大江山線、小倉線、土師新町24号線、天王線、下天津大呂線、岡ノ木線、笹場小野線、川北荒木線交差点について、道路改良等の事業を実施する。	計画に沿って主要な観光地に至る市道の整備を行ったことにより、自動車や観光バス等の交通の円滑化を図ることができ、観光入込客数が増加した。	道路河川課	39,868,000	19,934,000	C	①安全で安心できるためのインフラ整備は、単にインフラの強化が目的ではなく、利用者にとって活用すべき意味のあるものに仕上げてほしい。	あり 5 なし 0 不明 0
小計						39,868,000	19,934,000			
推進交付金合計						216,822,882	89,322,771			

☆地方創生拠点整備交付金(⑥)

⑥「北近畿『知』の拠点プラットフォーム事業、まちかどキャンパス事業」【H28～H29】 【事業概要】福知山公立大学が北近畿地域の住民、企業、各種団体等との連携・協働の活動拠点として様々な機能を発揮するよう、大学の施設改修及びICT環境の充実強化に向けた取組を支援する。				平成29年事業にかかるKPI(重要業績指標)						
				指標名		実施前値		目標値	実績値	
				プラットフォーム施設利用者数		一人	30人	目標年月H31.3のため、実績値なし		
				プロジェクトの新商品等の開発件数		一件	1件			
				府県を越えた自治体連携事業数		一件	1件			
				まちかどキャンパス利用者数		一人	30人			
				住民連携取組事例数		一件	1件			
				まちかどキャンパス事業を利用した新たな起業家数		一人	1件			
No.	アクションプランの位置づけ	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議(5人構成)	
									主な意見	地域創生の効果
32	II-1 地(知)の拠点としての地方大学の強化	福知山公立大学「学びの拠点」推進事業(北近畿『知』の拠点プラットフォーム事業、まちかどキャンパス事業)	福知山公立大学が北近畿地域の住民、企業、各種団体等との連携・協働の活動拠点として様々な機能を発揮するよう、大学の施設改修(図書館、駐輪場整備)及びICT環境の充実強化に向けた取組を支援する。	大学施設改修工事、まちかどキャンパス整備工事を完了することができた。	大学政策課	84,500,000	42,250,000	C	①多額の設備投資を伴ったが、今後各々の施設が十分に活用されているかについて、モニタリングが必要である。 ②公立大学の将来を見据えた場合、その活動ビジョンに記載される中身に、市民が注視すると考える。「大学」と市民との一層の日常的な交流が図られることに期待したい。	あり 5 なし 0 不明 0
小計						84,500,000	42,250,000			
合計(推進交付金 + 拠点整備交付金)						301,322,882	131,572,771			

A(非常に効果があった)
B(相当程度効果があった)
C(効果があった)
D(効果がなかった)